

先進歯科医学 (AD : Advanced Dentistry)

(H28年12月5日～12月16日)

コース責任者：(主) 近藤尚知、三上俊成

担当講座 (分野) 担当 Director :

補綴・インプラント学講座 近藤
補綴・インプラント学講座 小林
補綴・インプラント学講座 金村
歯科保存学講座 (う蝕治療学分野) 野田
歯科保存学講座 (歯周療法学分野) 八重柏
病理学講座 (病態解析学分野) 三上

4年後期

講義

実習

34.5 時間

15.0 時間

教育成果 (アウトカム) (講義・実習)

先進歯科医学 (Advanced Dentistry) では、保存修復学、補綴治療学等に関して理解、把握してきた知識を確かなものとし、さらに高度な歯科治療を学習し、実習を行うことによって各ユニットを修得する。さらに、先進的な内容であるインプラント外科手術、摂食・嚥下リハビリテーション、Digital dentistry、スポーツ歯学についても講義・実習を行うことでその内容の理解を深める。

講義、実習、手術見学などを行い、その後コース全体としての最終筆記試験を実施する。

事前学修時間 (30 分)

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書ウェブクラス等を用いて事前学修 (予習) を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月5日(月) 1限	野田守教授 岡田伸男講師 (う蝕治療学)	審美歯科治療 1 非侵襲的処置と侵襲的治療法	1. 歯の漂白方法について説明できる。 2. ラミネートベニア修復について説明できる。 3. コンポジットレジンのレイヤリングテクニックを説明できる。
12月5日(月) 2限	野田守教授 岡田伸男講師 (う蝕治療学)	難易度の高い 歯科治療 1 レーザー治療 マイクロスコープ	1. 歯科用レーザーの種類と適用について説明できる。 2. 歯科用マイクロスコープの使用方法について説明できる。
12月5日(月) 3限	鬼原英道准教授 (補綴・インプラント学)	審美歯科治療 2 インプラントによる 審美修復・即時修復	1. インプラントの審美修復について説明できる。 2. 即時負荷の方法とその意義について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月6日(火) 1、2限	※高藤恭子助教 近藤尚知教授 鬼原英道准教授 三浦真悟助教 畠山航助教 横田潤助教 小林琢也准教授 原総一朗助教 金村清孝准教授 田邊憲昌講師 斎藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	インプラント実習準備 ①器具の確認 ②個人トレー作製用 模型準備	1. インプラント体の埋入器具の準備ができる。 2. インプラント埋入手術の手順を説明できる。 3. 個人トレーの製作法を理解する。
12月6日(火) 3、4限	田邊憲昌講師 金村清孝准教授 畠山航助教 横田潤助教 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学) 児玉厚三 (非常勤) 豊田康夫 (非常勤) 鈴木卓也 (非常勤) 佐藤武 (非常勤)	スポーツマウスガード製作実習 ①製作法講義 ②マウスガード作製	1. マウスガードの製作手順について説明できる。 2. マウスガードの製作に必要な器材について説明できる。 3. マウスガードの製作の手技を習得する。
12月7日(水) 1、2、3限	※高藤恭子助教 近藤尚知教授 鬼原英道准教授 三浦真悟助教 畠山航助教 横田潤助教 小林琢也准教授 原総一朗助教 金村清孝准教授 田邊憲昌講師 斎藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	インプラント埋入実習 ①器材確認 ②インプラント埋入	1. インプラント体の埋入器具の準備ができる。 2. インプラント埋入手術の手順を説明できる。 3. 手術器具を適切に扱うことができる。 4. インプラントの埋入手術に必要な手技を習得する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月7日(水) 4限	※高藤恭子助教 近藤尚知教授 鬼原英道准教授 三浦真悟助教 畠山航助教 横田潤助教 小林琢也准教授 原総一朗助教 金村清孝准教授 田邊憲昌講師 斎藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	インプラント印象採得実習	1. インプラント印象採得に必要な器具の準備ができる。 2. 個人トレーの作製の手技を習得する。 3. インプラント印象採得の手順を説明できる。 4. インプラント印象採得必要な手技を習得する。
12月8日(木) 1限	梅原一浩 (非常勤) 近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	デンタルインプラント1 ITを応用した診断と治療計画について理解する。	1. デンタルインプラントの診断について説明できる。 2. 埋入手術シミュレーションについての説明ができる。 3. PCを用いた診断ができる。
12月8日(木) 2限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	デンタルインプラント2 骨移植症例について理解する。	1. 骨移植を応用したインプラントの埋入手術について説明できる。 2. 骨補填材について説明できる。
12月8日(木) 3限	近藤尚知教授 田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学) 石山信男 (非常勤講師)	スポーツ歯科 1 スポーツ歯科の目的を理解する。	1. スポーツ歯科の意義について説明できる 2. スポーツ基本法について説明できる。 3. マウスガードの目的と機能を説明できる。 4. スポーツ選手と歯科との関わり合いについて説明できる。
12月8日(木) 4限	金村清孝准教授 (補綴・インプラント学) 末綱大 (非常勤講師) 宮崎大輔 (非常勤講師)	スポーツ歯科 2 スポーツ医学の実際を理解する。	1. スポーツ医学について理解する。 2. スポーツ選手が歯科医師に求めるものを理解する。
12月9日(金) 1限	春日井昇平 (非常勤講師)	デンタルインプラント4 偶発症・インプラント周囲炎について理解する	1. インプラント治療における偶発症について説明できる。 2. インプラント周囲炎の原因について説明できる。 3. インプラント周囲炎の対処法について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月9日(金) 2限	堀内克啓 (非常勤講師)	デンタルインプラント5 高度なインプラント 外科手術	1. インプラント治療における骨移植について説明できる。 2. インプラント治療における骨造成法の種類と適応について説明できる。
12月9日(金) 3限	鬼原英道准教授 (補綴・インプラント学)	デンタルインプラント6 審美修復・即時修復について理解する。	1. インプラントの審美修復について説明できる。 2. 即時負荷の方法とその意義について説明できる。
12月9日(金) 4限	武部純准教授 (非常勤講師)	難易度の高い歯科治療2 (顎顔面補綴) 顎顔面補綴の概念と治療法を理解する。	1. 顎顔面補綴の定義を説明できる。 2. 顎顔面補綴の分類を説明できる。 3. 顎顔面補綴の治療手順を説明できる。
12月12日(月) 1限	古屋純一 (非常勤講師)	摂食嚥下リハビリテーション1 摂食・嚥下障害 摂食・嚥下のメカニズムとその障害、診断法を理解する。	1. 摂食・嚥下の5期について説明できる。 2. 摂食・嚥下障害について説明できる。 3. 摂食・嚥下障害のスクリーニングテストについて説明できる。 4. 摂食・嚥下障害の精密検査について説明できる。
12月12日(月) 2限	武田泰典教授 (病態解析学)	加齢を病理学的に理解する	1. 加齢を病理総論的に説明できる。 2. 口腔諸組織の加齢変化について説明できる。
12月12日(月) 3限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	摂食嚥下リハビリテーション2 摂食・嚥下障害の病院を理解する。	1. 摂食嚥下障害の病衣位について説明できる。 2. 摂食・嚥下リハビリテーションの治療計画法について説明できる。
12月13日(火) 1限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	摂食嚥下リハビリテーション3 摂食・嚥下リハビリテーション 摂食・嚥下障害のリハビリテーションを理解する。	1. 間接訓練と直接訓練について説明できる。 2. 代償法について説明できる。 3. 多職種連携、様々な対応法について説明できる。
12月13日(火) 2限	戸原玄 (非常勤講師)	摂食嚥下リハビリテーション4 摂食・嚥下リハビリテーションと訪問診療 摂食・嚥下リハビリテーション、訪問診療、高齢者の口腔管理を理解する。	1. 摂食・嚥下リハビリテーションと高齢者の口腔管理について説明できる。 2. 摂食・嚥下障害のリスク管理について説明できる。 3. 訪問診療と摂食・嚥下リハビリテーションについて説明できる。 4. 摂食・嚥下リハビリテーションと栄養管理について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月13日(火) 3限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	摂食嚥下リハビリテーション5 口腔内装置と口腔ケア 摂食・嚥下リハビリテーションにおける歯科的対応を理解する。	1. 摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケアについて説明できる。 2. 摂食・嚥下リハビリテーションと口腔内装置について説明できる。
12月13日(火) 4限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	摂食嚥下リハビリテーション6 高齢者に対する摂食・嚥下リハビリテーションを理解する。	1. 高齢者の摂食嚥下障害の病衣位について説明できる。 2. 高齢者の摂食・嚥下リハビリテーションの治療計画法について説明できる。
12月14日(水) 1限	大平千之講師 (補綴・インプラント学) 馬場一美 (非常勤講師)	Digital Dentistry 1 Digital Dentistry について理解する。	1. Digital Dentistry の特徴について説明できる。
12月14日(水) 2限	近藤尚知教授 大平千之講師 (補綴・インプラント学) 馬場一美 (非常勤講師)	Digital Dentistry 2 CAD/CAD システムについて理解する。	1. CAD/CAD システムを用いたインレー、クラウン製作方法について説明できる。 2. 口腔内スキャナーの使用方法について説明できる。
12月14日(水) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学) 高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	難易度の高い歯科治療3 (床義歯補綴) 難症例に対する治療法を理解する。	1. 歯周病患者に対するインプラント治療の在り方を知る。 2. インプラント周囲炎について説明できる。
12月14日(水) 4限	三上俊成准教授 (病態解析学)	インプラントに伴う病理変化を理解する。	1. インプラントに伴う生体反応を説明できる。 2. 骨再生、炎症、骨髄炎、偶発症における病理変化を説明できる。
12月15日(木) 2限	小林琢也准教授 野村太郎講師 (補綴・インプラント学) 児玉厚三 (非常勤講師)	難易度の高い歯科治療4 (床義歯補綴) 難症例に対する治療法を理解する。	1. 総義歯補綴の定義を説明できる。 2. 難症例に対する床義歯補綴の治療手順を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月15日(木) 3限	野村太郎講師 安藝紗織助教 米澤 悠助教 大平千之講師 斎藤裕美子助教 ※高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	インプラント手術 室・CAD/CAMセンター 見学1	1. 手術室における器具に準備を説明できる。 2. 患者の誘導について説明できる。 3. 術中管理・術後管理について説明できる。 4. CAD/CAM システムについて説明できる 5. CAD/CAM センターの器材について説明できる。
12月15日(木) 4限	野村太郎講師 安藝紗織助教 米澤 悠助教 大平千之講師 斎藤裕美子助教 ※高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	インプラント手術 室・CAD/CAMセンター 見学2	1. 手術室における器具に準備を説明できる。 2. 患者の誘導について説明できる。 3. 術中管理・術後管理について説明できる。 4. CAD/CAM システムについて説明できる。 5. CAD/CAM センターの器材について説明できる。

コース最終試験

月 日	担当者		
12月16日(金) 1限	野田守教授 岡田伸男講師 (う蝕治療学) 近藤尚知教授 鬼原英道准教授 金村清孝准教授 小林琢也准教授 (補綴・インプラント学) 三上俊成准教授 (病態解析学) 八重柏隆教授 (歯周療法学)	最終筆記試験	
12月16日(金) 2限		コースアンケート	

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	よくわかる口腔インプラント学 2版	赤川安正ほか著	医歯薬出版	2011年
教	クラウンブリッジ補綴学5版	矢谷博文ほか編	医歯薬出版	2014年
教	要説スポーツ歯科医学	安井利一ほか編	医学情報社	2015年
参	エッセンシャル口腔インプラント学	古谷野潔ほか著	医歯薬出版	2009年
参	図説無歯顎補綴学：理論から装着後の問題解決まで	山縣健佑ほか著	学建書院	2004年
参	パーシャルデンチャーアトラス：デザイン理論と臨床遊離端義歯を中心に	大山喬史 編著	医歯薬出版	2005年
参	コンプリートデンチャーテクニック 6版	細井紀雄ほか編	医歯薬出版	2011年

成績評価方法

<p>講義（65点以上で合格）：コース最終筆記試験の総合評価 実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）評価、 コース最終筆記試験実習の総合評価 講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。</p> <p>備考 実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価対象とする。 講義・実習ともに欠席・遅刻に応じて減点する。</p>
--

授業に使用する機械・器具と使用目的

[AD]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デジタル1眼レフカメラ一式 EOS 7D	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用
レーザービームプリンタ Satera LBP9200C	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用
コーケン内視鏡 洗浄容器 #1081	1	基礎実習用機器	学生配布資料提示用
ハロゲン光源装置 LH-150PC	1	基礎実習用機器	学生配布資料提示用
超純水製造装置 Direct-QUV	1	視聴覚用機器	実習試料の作成
ノートパソコン Inspiron13Z	1	視聴覚用機器	講義の資料提示用
デスクトップパソコン Inspiron 620MT	1	視聴覚用機器	講義の資料提示用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デジタルカラー複合機 imagio	MPC4002SPF	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
内視鏡用CCDカメラ	PSV-4000	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	嚥下に関わる機器、内視鏡 検査の説明用
ノートパソコン MacBook Air 11inc 一式	MD712J/B	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
ノートパソコン一式 HP ZBOOK	HP ZBook15 Mobile Workstation	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
薬用冷蔵ショーケース	NC-ME15A	1	基礎実習・研究用機器	実験、実習試料及び試薬の 保存
ノートパソコン一式	PCLZ750TSB(SSS)	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
デスクトップパソコン	ENVYPHOEIX810 480JP/CT	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
ノートパソコン VAIO 一 式	VJP1111シリーズ /VP111	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
コピー機・ミニコピア	DPC995	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
ノートパソコン・MacBook Pro	Retina ディスプレイモ デル	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
ネットワーク対応ハードデ ィスク装置一式	RN31600	1	基礎実習・研究用機器	基礎実習、臨床実習におけ る症例提示用の資料保存
A3 カラープリンター・一 式	SP C740	2	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成